

平成 22 年度 事業計画書

綱島公園こどもログハウス

運営方針	子どもたちが触れ合い、創造力・表現力を育む場としての子どもログハウスの設置目的を十分に認識し、子どもたちに愛される施設づくりを通じ健全な地域社会の形成に貢献します。
運営目標	子どもたちが安心して遊べるよう安全確保と危険防止を図ります。 子どもたちの遊び満足度を高めます。 低廉なコストで高いサービスを提供します。
利用の促進	子供の安全に対する環境の変化や少子化の影響から、利用者の漸減傾向が続いていますが、利用者の少ない平日の利用者増に努めます。 (本施設は木々に覆われた小高い公園内の奥まった所に立地しているため、安全面への危惧から子どもたちだけの外出に不安が伴い来館者数の減少に影響しているものと考えられる)
事業目標	伝統的または習俗的な季節の行事を実施します。
情報提供	ホームページ、市区広報、楽遊学、ログハウス便りなどで実施の事業や、館の周知を図ります。
危機管理	危険と隣り合わせの施設であるため、危険防止と安全管理を柱としたマニュアルに基づき、日々、施設の点検及び利用者への注意を怠らず、事故の未然防止に努めるとともに、事故発生時の緊急対応を徹底します。 (危険を招きかねない設備備品等の不具合を発見した場合は、ただちに修繕その他の危険防止策をとります) 消防署の協力による A E D の操作訓練、防災訓練を実施します。
維持管理目標	安全清潔をモットーに、施設の維持管理に努めます。 設備の日々の点検の中で、損傷の早期発見、早期対応に努め、事故の未然防止を図るとともに施設の延命に努めます。 当番スタッフによる日常清掃により、施設が常に清潔良好な状態に保たれるようにします。
公聴[意見要望]	施設備え付けのご意見箱の活用や、子どもまたは幼児連れの保護者へのアンケート実施などにより意見要望等を把握し運営改善に努めます。
個人情報保護	港北区区民利用施設協会の個人情報保護指針及び個人情報保護規程等に従い職員研修を行うほか、機会あるごとに趣旨を徹底し個人情報の保護管理に努めます。
その他	徹底した節約により無駄な出費のないよう努めます。

平成22年度 自主事業別計画書

団体名: 港北区区民利用施設協会

施設名: 綱島公園子どもログハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕まつり	季節の行事として例年行っている七夕祭りを、カラフルな吹流しや願い事を書いた短冊で竹枝や笹に飾り付けるほか、織姫と彦星の看板絵や折り紙などで館内を満艦飾にし、伝統行事の伝承を祝う場とする。 ”短冊に願いを書いて笹に飾ろう”	6/30~7/7 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
秋まつり	”秋を楽しもう” 周囲の雑木林から集めたドングリなど木の実や落葉を飾りに用いて写真たて表札などを作り秋を楽しむ。	10月下旬 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス会	”サンタがログにもやってくる!” 12月の習俗行事として定着したクリスマスをサンタのお話や劇・音楽・ゲームなどで楽しむ。 ・みんなで歌いましょう(ジングルベル) ・ビンゴゲーム(会長扮するサンタよりプレゼント)	12月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
豆まき	”大声で「福は内! 鬼は外!」を” 家庭ではあまり行われなくなった伝統行事の豆まきを行い、スタッフ扮する鬼を退治したりゲームを楽しむ。	2月初旬

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
モッキーだより	ログハウスでの行事やアンケートの結果など通常の館の利用のなかでお知らせしたいことを記事に載せ、利用者の方に身近に感じてもらえることを目的に発行する。施設近隣の自治会町内会の協力を得て各世帯に回覧(4,000部発行)	6月・12月 年2回

平成22年度 こどもログハウスの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)			8,077
項目	指定管理料	市からの指定管理料	8,077
	利用料金収入		
	事業収入		
	その他収入		
支出合計(B)			8,077
項目	人件費	賃金(コミュニティスタッフ14人) 5,521 社会保険料他 243	5,764
	事務費	消耗品費 355 通信費 55 施設賠償責任保険 25 リース料 98 備品購入費 100 手数料 26 その他 61	720
	事業費	自主事業費 130	130
	ニーズ対応費		
	管理費	清掃費 231 修繕費 330 機械警備費 244 設備保全費 23	828
	税	消費税	250
	事務経費		385
収支(A)-(B)			0